

ふれあい

高花平小学校 学校だより
No. 22
平成 27(2015)年 1月-2
☎高花平小 320-2074, 321-3040



あなたも マッサン・エリー

～ これからは国際化の時代、**“めざせ 地球人”**！～

NHK ドラマ「マッサン」は、ニッカウキスキーの創業者である竹鶴正隆とその妻リタのお話。楽しくて、たくさんの方が観ているようです。*私(校長)の妻も、「マッサン」の大ファン。目の前に、「いいオッサン」がいるのに…(笑)

今でこそ、国際結婚も珍しくありませんが、マッサンの時代(大正時代)は、日本人・外国人のカップルは少なく、言葉や文化、習慣のちがいで、マッサンもリタさんも、周囲の人々も苦労したかもしれません。しかし、今では、四日市にも、たくさん外国の人が暮らし、ブラジル・タイ・フィリピン・韓国など、いろんな国の料理も手軽に食べられます。

今、高花平も、日本も 少子高齢化が進み、2050年には、「日本の労働人口(元気に働ける人の数)が、4000万人減る」と言われています。このまま日本の経済を維持しようと思ったら、何とか“働き手”を見つけなければなりません。

- ▶ 障がいはあるけど 元気に働ける
- ▶ 退職したけど もっと働きたい人
- ▶ 子育て中、家庭生活を送っている 女性
- ▶ 外国人 にお問い合わせする…でしょうか。

これからの日本は、外国の人や高齢者、女性のみなさんがあちこちで活躍する姿が増えることでしょう。そして、「うちの母ちゃんは、愛知県出身」から、「私のお父さんは、ブラジル系日本人」と言う時代が来るでしょう。今のアメリカ合衆国、ヨーロッパのように…。

私たちも、まず自分の国・日本のことを学びながらも、いろんな国や世界のことでも知り、『地球人・国際人』として成長していきたいものですね。



今、高花平小では、国際理解・多文化共生にかかわる学習をしています。

国際理解講座

「泣いて！笑って！マダガスカル」

■平成27(2015)年 2月1日(日) 13:30～

■四郷地区市民センター 2F ホール

■中西葉子さん★(元青年海外協力隊員)

(★広報「よっかいち」1月号で、四日市市長さんと対談している、和服女性の方です)

■マダガスカルの話、写真展示、食べ物…

～ 高花平のことがTVで紹介されるよ～

02/17(火) 20:00～ 29

02/24(火) 13:05～ 34(再放送)

ONHK・Eテレ <全国放送>

「えがお」を取り戻したい

～ 高齢化した高花平団地の取り組み～

*高花平小学校屋上から、高花地区の風景を撮影。商店街や登校の様子も登場予定。

あたま がくりょく こころ がくりょく も 頭の学力・心の学力を持ち、

がっこうほけんいんかい し
学校保健委員会のお知らせ

けんこう 健康でたくましい子に育てよう！

げつ 2 / 2 (月) 15:25~16:35 □ 視聴覚室 (2F)

か たいせつ がっこうい もり やすのりせんせい
□ 「噛むことの大切さ」 学校医・森 康典先生 (ライオンズ歯科)



～ やきゅうせんしゅ は わる か ちから よわ ひと う
野球選手で、歯が悪い・噛む力の弱い人は、なかなかヒットが打てないそうです。
おな こ こころ がくりょく けんこう おお かんけい けんきゅう
同じように、子どもも、「噛む力」が、学力や健康に大いに関係しているという研究
けっか き
結果もあると聞きます。

こ あたま がくりょく こころ がくりょく けんこう こ そだ
お子さんを、頭の学力・心の学力をそなえ、健康でたくましい子に育てたいです
ね。ぜひ、子育てのヒントをつかもう！ みなさんで、誘い合って おいで下さい。

(＊参加の方は、学校までお知らせを。まだ、会場にゆとりがあります。)

こころ 心のキャッチボール ～ みなさんからの声・16 ～

せんじつ がっこうひょうか しゅうきじゆつ
〈 先日の学校評価(アンケート)・自由記述から **その3** 〉

おな がくねん がくしゅう すず かた さいしゅうてき なら いっしょ
○同じ学年でも、クラスによって学習の進み方がちがうようです。最終的に習うのは一緒だと
おもいますが、あまり差があるのはよくないと思います。今はさほど気にしていない子どもた
ちも、学年があがるにつれて人とくらべることが多くなるとおもいます。クラスによってたしょうは
ちが ちが おも さで
違いもあると思いますが、なるべく差の出ないようにしてほしいです。

ほごしゃどうよう せんせいがか か こ か さべつ とく
○保護者同様、先生方も変わらなければ、子どもたちも変わらない。いじめや差別は、特にそう
おも
おもいます。

つか かた どうろ じてんしゃ かりお あそ し
○テニスコートの使い方や道路へ自転車を仮置きしたままの遊びなど、まだまだルールを知らない
こ
子がいます。具体的に指導をお願いします。

→ 「子どもの前に、私たち大人が…」という考えは、その通りだと思います。自分が“やる
ことをやってない”のに、子どもにだけ やりなさい、変わりなさい…というのは、ちょっと虫
のいいかんが かと おとなじしん こ てほん
考え方ですね。やはり、大人自身が子どもの手本・モデルになりたいものです。特に、
わたし きょうし やくわり せきにん おお おも
私たち教師の役割と責任は、大きいと思います。

きょうし み み さべつ しかに たうぜん おも
教師が見て見ぬふりをしていたり、“いじめや差別されても仕方ない、当然や…”という思い
を ち
持っていたりしたら、いじめ・差別を受けている子は、いたたまれません。私たち教師は、
からだ は さべつ みのが ゆる たいど とき
体を張ってでも、いじめ・差別を見逃さない、許さない態度をとるべきです。(＊時には、攻撃
や きょうし む
の矢が教師に向かうこともあります。)

やくそく がっこう ちいき かた ほごしゃ かた おな こえ
約束・ルールについても、学校、地域の方・保護者の方が、同じように声をかけていきたい
です。い かんが かと おとな ひと おな い
「言い方はちがうけど、大人の人みんなが 同じことを言うなあ…」というようにして
い がい
いきたいです。学校任せ、家庭任せでなく、みんながかりで見守っていきましょう。